

豊かなつながりを目指して！

「人権（共生）のまちづくり

シンポジウム」開催

小郡市全体に広がった

「人権のまちづくり」

小郡市では、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指して、「人権のまちづくり」の取り組みを進めてきました。地域住民を主体とし、各地域の独自性を生かした、地域における子育て支援や教育支援、安全安心な地域社会づくり、高齢者支援など子どもや高齢者を中心とした優しいまちづくりが進められています。

「人権（共生）のまちづくり

シンポジウム」開催

1月30日（日）午後1時30分より人権教育啓発センターで、「人権（共生）のまちづくりシンポジウム」が開催されました。これは、各校区の活動の紹介をするともに、今後のまちづくりの活動の参考にしていただくことを目的にしたものです。また、この事業は、宝くじ普及を目的とした助成を受けて開催したものです。

当日は、講演とシンポジウムの二部形式で実施。雪の舞い散る寒い日でしたが、区長や民生委員をはじめ、120名の参加がありました。

講演

講演は、「心の窓を少し拓いて」と題して、大阪府貝塚市立西小学校校長の明石一朗さんにお話しいただきました。

明石さんは、人権教育に長年携わられ、子どもの見方、接し方、叱り方、心のつかみ方、家庭や地域の教育力など、教育課題について数多く講演されています。

「同和教育」や「人権教育」とは何か、「その違いは何か」などについて、ご自身の体験や具体例をあげられながら、笑いの入った楽しい話をしていただきました。地域の方のあたかいまなざしの必要性も話されました。

参加者からも「人権教育は人が人として当たり前にならなければならないこと。元気になる教育でニコニコしながら行っていきたい」と言われたことが印象に残った。「ユーモアにあふれ、思いの詰まったお話、そして展望のある話、楽しく聴かせてもらった」「分かりやすく、心の中に何のこだわりもなく受け入れられた」など、とても楽しい講演という声を数多くいただきました。



シンポジウム

シンポジウムでは、パネラーによる意見交換を行いました。パネラーには、講演に引き続き明石さん、さらに福岡教育大学名誉教授の小田稔さん、九州大谷短期大学講師の組坂幸喜さんの3人に、お願いしました。まず、コーディネーターの高田美穂さん（人権・同和教育課）から、小郡市の人権のまちづくりの流れおよび各校区の活動報告がありました。

続いて、パネラーの方より「まちづくり」についての思いが話されました。



小田さんは、「まちづくりは、建物としてのハウス（家）ではなく、すべての人に、家族の一員のような安らぎが保障されるホームを目指さなければならない。その過程の中で、大人は子どもの信頼をとり戻したい」と話され、明石さんは「人づくりがまちづくりである」と、組坂さんは「正しい認識でも押しつけては限界がある。解決する手法や差別のおかしさに気づくことが必要。そして行動へ。人と人をつなぎ、課題を把握し、解決策を探り、まちづくりで実施していく」と意見を述べられました。

人権のまちづくりには、いろいろな活動を通して、人と人とのつながりを広げていくことが大切です。そんな人権のまちづくりを行っていきましよう。